

県議会だより いしかわ

第19号

全国 産業教育フェア 石川大会

全国から専門高校等
500校、約3000人の
生徒が参加

全国の専門高校等500校の生徒約3000人が参加し、昨年11月5日、6日の2日間、「第26回全国産業教育フェア石川大会(さんフェア石川2016)」が県産業展示館やいしかわ総合スポーツセンター(金沢市)などを会場に開催されました。

農業や工業、商業、水産などの分野に分かれ、生徒が日ごろ学んだ成果を生かした催しがあり、和菓子やトートバッグの製作、県内外の商業高校15校の生徒が考案したオリジナルスイーツなどを販売する「全国高校デパート」、ロボットの性能を競い合う競技大会など、多岐にわたるイベントが来場者の注目を集めました。



今号の
トピックス

- 県議会ダイジェスト Vol.1
県民の声を県政に届けよう!
- 常任委員会 2016年活動レポート

県議会ダイジェスト

Vol.1

県民の声を県政に届けよう!

県議会議員は県民の代表です。年4回の定例会や毎月開催される常任委員会などで意見を述べたり、質疑を行うことで県民の皆さんの思いを県政に届け、さまざまな県の取り組みに反映させることが、議員の最も重要な役割です。

これまでの論戦について、今号から4回にわたり、各議員が行った質疑の一部を紹介します。今号では、1期8人と2期のうち2人の議員が行った質問を掲載します。なお、このほかの質疑に関しては、県議会ホームページに掲載の会議録や議会図書室で閲覧できます。

※ 県議会ホームページは「石川県議会 会議録」と検索してください。スマートフォンやタブレット型端末でもご利用いただけます。

会派名 自由民主党：自由民主党石川県議会議員協議会
未来石川：未来石川議員会
WILL石川：WILL石川

< 議員は別期、年齢順に並んでいます。 >

一川 政之

いちかわ まさゆき

1期 未来石川



小松の石文化を 活用した観光誘客について

Q 「小松の石文化」を活用した地域の観光誘客の取り組みに対し、県としてもサポートすべきと思うがどうか。

A 日本遺産の認定を機に、まずは地元において魅力ある観光資源となるよう磨きをかけていただいた上で、県としても、全国に向けてその魅力を発信し、観光誘客につながるようサポートしていく。

Q いしかわ森林環境税の第3期における具体的な事業計画を聞く。

A 手入れ不足人工林の整備、放置竹林の除去、緩衝帯の整備等を行う。森林環境税を活用し、森林を健全な姿で未来の世代に継承できるよう取り組む。

富瀬 永

とみせ ひさし

1期 未来石川



障害者差別解消法 について

Q 全ての県民が障害の有無によって分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会、何よりも障害のある方が社会の一員として尊厳を持って生活することができる社会の実現に向けて、これまで以上に積極的な取り組みが必要と考えるがどうか。

A 社会的な障壁にこそより大きな問題があるという考え方に基づき制定された障害者差別解消法の施行を契機として、全ての県民が障害の有無によって分け隔てられることなく共生する社会の実現に向け、さまざまな施策の推進に積極的に取り組む。

八田 知子

はった ともこ

1期 自由民主党



病児・病後児保育 について

Q 病気の子どもが安心して過ごせるよう、病児・病後児保育は普段通う保育所等で行われることが望ましいと考えるがどうか。

A 専用スペースや看護師等の配置が必要であり難しいが、普段と異なる施設でも子どもが安心して過ごせるよう、保護者に好きな玩具や食事を聞き取るなど配慮している。

Q 木場潟公園のウォーキング利用者などのため、園路の夜間照明として足元に埋め込むソーラーライトを設置してはどうか。

A 防犯や安全確保の面から周遊園路の夜間利用に向けたサービスの提供は考えていないが、安全面に十分配慮されたイベントについては、引き続き協力していく。

田中 哲也

たなか てつや

1期 自由民主党



白山白川郷ホワイト ロードと加賀観光について

Q 白山白川郷ホワイトロードの片道無料キャンペーンのPR状況と通行料無料化を念頭に置いて、利用促進策を聞く。

A ホームページなどによる情報発信や旅行会社への出向宣伝など積極的にPRに努めている。新たにフォトコンテストなどを行っており、多くの方に利用していただけるよう、引き続き、魅力発信や利用促進に取り組む。

Q シンガポール事務所の主な活動内容を聞く。

A 県内企業への現地の商習慣や市場動向、貿易手続き、展示会などの情報提供等に加え、商社やバイヤーなど現地取引先の紹介やその後のフォローアップなどを行っている。

田中 敬人

たなか たかひと

1期 自由民主党



学校防災教師の 養成について

Q 県独自で学校防災教師を養成するねらいを聞く。

A 災害時に児童生徒の安全を確保することは教員の第一義的役割である。県では、児童生徒が安全かつ迅速に避難できるよう、学校防災に必要な知識と実践力を教員に身につけさせるため、全ての公立学校の安全担当教員を対象に学校防災教師養成講座を実施している。

Q 少子化により対象世帯の減少が見込まれる中で、プレミアム・パスポートの対象世帯の要件を拡大してはどうか。

A この事業の実施には何よりも企業の理解と協力が不可欠である。まずは協賛企業の意見をよく聞く必要があると考えている。

車 幸弘

くるま ゆきひろ

1期 自由民主党



広域連携による 白山への周遊観光について

Q 広域連携による白山への周遊観光を推進すべきと考えるが、対応を聞く。

A 岐阜、福井両県や関係市町等と十分連携し、本県が誇る貴重な観光資源であり、開山1300年を迎える白山の魅力を積極的に発信し、白山地域への誘客にしっかり取り組んでいく。

Q 東京五輪に向け、文化イベントとのコラボレーションなど、スポーツだけでなく本県独自の取り組みも必要と考えるがどうか。

A 国は東京大会に向けて全国各地で文化プログラムを実施する方針。文化の魅力を世界に向けて発信するまたとないチャンスであり、文化立県を目指す本県としてはしっかり対応していく。

横山 隆也

よこやま たかや

1期 自由民主党



松任海浜公園、 手取公園の植栽について

Q 松任海浜公園と手取公園にあるマツの植栽には、伐根、整地に相応の費用が必要だが対応は。

A 地元の協力を得て苗木の植栽を行っているが、枯死したマツの伐根や整地などが必要となる場合があれば県が実施していく。

Q 土砂災害特別警戒区域から安全な区域への住宅移転を促進するため、熊本県が創設した助成制度を本県でも創設してはどうか。

A これまでも、市町と連携して建物除却費用等に必要の借入金の利子相当額を補助してきた。熊本県の制度が今後どの程度活用され、住宅移転が促進されるか注視していく。

沖津 千万人

おきつ ちまと

1期 自由民主党



県立高松病院の 若年性認知症相談窓口について

Q 県立高松病院に設置された若年性認知症の相談窓口の支援策と今後の取り組みを聞く。

A 必要に応じて医師による早期の診断治療を勧めるほか、介護保険等適切なサービスにつなげるなど相談内容に応じた支援を行っている。今後も本人や家族が住みなれた地域で生活が継続できるよう対応していく。

Q ふるさと回帰支援センターに職員を配置し、首都圏における相談体制の強化を図るようだが、具体的な取り組みを聞く。

A 半数以上を占める移住先を決めていない相談者をILACに呼び込み、本県の移住・就職先としての魅力をPRしながら移住に関する相談に対応する。

室谷 弘幸

むろや ひろゆき

2期 自由民主党



廃業旅館の 解体・撤去について

Q 市町が実施する廃業旅館の解体・撤去に対する県としての支援を聞く。

A 先進事例や解体撤去に対する国の補助制度を紹介するなど市町の取り組みを支援するとともに、市町が対策を実施していくために必要な予算を国に要望していく。

Q 県内の4月の有効求人倍率は1.60倍と24年ぶりの高さとなっているが、人手不足の慢性化に対する取り組みを聞く。

A あらゆる人材と企業とのマッチングをワンストップで行ういわかわ就職・定住総合サポートセンターを開設した。今後はここを核とし、マッチングの場を質量ともに拡充し、県内企業の人材確保を支援していく。

川 裕一郎

かわ ゆういちろう

2期 WILL石川



新県立図書館 について

Q 新県立図書館は地域の防災拠点として備蓄倉庫や避難所の機能を兼ね備えるべきではないか。

A 避難所は市町が指定するものであり、まずは金沢市において周辺の状況も踏まえ、必要性を検討すべきものと考えている。

Q 門前クリーンパークについて、世界農業遺産に認定された地域には、産業廃棄物最終処分場はそぐわないと思うがどうか。

A ふるさと環境条例に基づく環境影響評価の手続きにおいて、生活環境に加え生態系や景観等への影響を調査、予測、評価し環境保全の措置を講ずることになっており、適切に対応していく。

常任委員会 2016年活動レポート

県政のさまざまな課題を専門的に審査・調査する場が県議会常任委員会です。
各常任委員会が県民生活に直結した議題について
審査・調査した主な内容を紹介します。

総務企画委員会

個性、交流、安心の
ふるさとづくりへ

総務企画委員会は、行財政改革や危機管理体制の整備、小松・のと里山両空港や北陸新幹線などの交通政策、消費者施策の推進や芸術文化の振興などについて幅広く議論しています。昨年7月には供用開始したばかりの能美市防災センターを訪問し、3D映像と振動を使った学習施設や消防システムの現状を視察。防災意識の向上などについて意見を交換しました。今後も安心・安全につながる防災・減災対策の充実・強化に努めていきます。



能美市防災センターを視察し、防災活動拠点の状況を確認しました

厚生文教委員会

切れ目のない少子化対策や
学力向上などに注力

厚生文教委員会では、県民の健康福祉、教育に関する課題について議論しています。具体的なテーマとしては、社会福祉の促進、医療・介護の充実、学校教育、生涯学習、文化財の保護・活用、スポーツ振興などが挙げられます。特に、福祉分野では少子化対策に力を入れており、結婚から妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援のあり方について、また、教育分野では学力向上に係る取り組みなどについて活発な意見を交わしています。



妙成寺(羽咋市)を視察し、文化財としての価値を再確認しました

環境農林建設委員会

交流基盤整備や
農林水産物のブランド化などを議論

環境農林建設委員会は、県民の快適で安全な暮らしにつながるさまざまな課題を議論しています。具体的には、里山里海環境の保全、農林水産物のブランド化、交流基盤の整備、道路や河川の防災対策などです。昨年は、クマ対策やのと里山海道の安全対策等を数多く取り上げました。また、金沢外環状道路海側幹線を視察し、加賀・金沢・能登をつなぐ広域交流ネットワーク基盤の推進についても意見を交わしました。



金沢外環状道路海側幹線を視察し、橋梁下部の工事について説明を受けました

商工労働公安委員会

商工業・観光産業の振興や
犯罪・交通事故防止に注力

商工労働公安委員会では、商工業・観光産業の振興と警察活動の推進をテーマに、中小企業支援や企業誘致、学生の県内就職・Uターン促進、観光誘客、犯罪や交通事故の防止などについて幅広く議論しています。最近では、クルーズ船による誘客や県内各地への送客に向けた観光ルートづくり、振り込め詐欺の防止に向けた通話録音警告機の普及や金融機関などとの連携強化について掘り下げており、経済の活性化と生活の安全・安心の確保に努めています。



小松空港を視察し、空港内での安全の確保について説明を受けました

県議会の活動を伝える広報紙

県議会
だより
第19号

編集・発行 / 石川県議会(年4回発行)
平成29年1月20日発行

県議会の傍聴や見学ができます!

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索

県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。



メールアドレス
gikai@pref.ishikawa.lg.jp